

第5章 道徳科の指導法の工夫

1 導入の工夫

道徳科の導入は、わずか数分の営みですが、授業への興味や関心を高め、児童生徒の意識を、ねらいとする道徳的価値に方向付ける段階です。

教材には様々な道徳的価値が含まれます。45分（50分）間で、学習を効果的に進めるには、ねらいとする道徳的価値を児童生徒の意識の中で焦点化していくことが必要です。

◇教材の内容に興味や関心をもたせる導入（教材への動機付け）



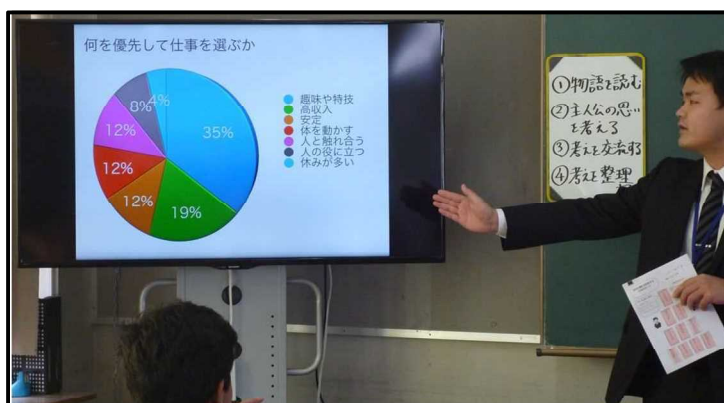
困っている人を見たら、親切にしたいと思う人、手を挙げてごらん。
しかし、今日のお話に出てくる人は、相手が困っているのに、わざと助けませんでした。
この人は不親切な人でしょうか？

教材を読む前に、大まかな内容を紹介し、教材に対する興味・関心等をもたせます。

すると、「早く読みたい。早く内容を知りたい。」と思う児童生徒も出てきます。

また、教材の内容を理解する上で、説明が必要な場合は、簡潔にまとめて、時代背景や言葉の意味等を合わせて説明を加えます。

◇ねらいに関わる問題意識をもたせる導入（道徳的価値への動機付け）



【アンケート結果 職業を選ぶときに、何を優先するか】

例えば、左の写真のようにアンケート結果を示すという方法があります。

臼杵市立西中学校の田中和喜教諭は、「ディズニー そうじの神様が教えてくれたこと（日本文教出版）」という教材を活用して、生徒のもつ「勤労観」を広げるという意図をもって授業を行いました。

勤労には、「収入の面」「社会を支えるという面」「目的を実現するために、使命としての面」等があります。

田中教諭は、職場体験を控えている1年生の生徒たちに対して、「勤労観」を多面的に捉えさせるため、導入では、アンケート結果から問題意識をもたせようとしていました。

アンケートの結果では、多くの生徒が、「高収入」や「安定」という理由を挙げていました。

この結果を紹介した後、田中教諭は、「働いて収入を得ることは大切です。しかし、多くの人は、収入を得るためだけに働いているのでしょうか。」と問いかけ、働くことの意義について考えていくことを促していきました。

2 教材提示の工夫

道徳科では、読み物教材の場合、**教師による読み聞かせ**が一般的に行われています。なぜ、教師による読み聞かせが、多く行われているのでしょうか。

【教師による読み聞かせ】

短時間で、全ての子どもに、教材の内容を理解させるため。



教材を、一文ずつ、全員の児童生徒に読ませるという方法で行う授業を見たことがあります。このような読ませ方では、時間のロスにもなりますし、聞いている児童生徒にとって、途切れ途切れに聞こえるため、話の内容をイメージするのが困難です。

大切なのは、児童生徒が、教材の内容を、短時間で理解できるようにすることです。



教師の読み聞かせ以外にも、次のような提示の方法も考えられます。

- 紙芝居
- 影絵
- 人形劇やペープサート
- 音声や音楽の効果を生かす
- 映像や動画

道徳科の授業において、なぜ共通の教材を活用するのか

◇理由① 道徳的価値の理解（価値理解、人間理解、他者理解）を深めるため

例えば、何の場面設定もなく、「友情とは、どのようなものだろう。」「失敗した人を許すことができるだろうか。」等と、問いかけたとします。

児童生徒の中には、自分の経験を想起しながら考える子もいると思いますが、自分の知り得る知識に基づき、観念的な理解に留まったり、考える材料がないため、思考できなかったりする子もいるかもしれません。

◇理由② 集団思考を促すため

共通の場面設定もないまま、個々ばらばらの体験に基づき、全員が発言したとしても、お互いに聞き合って、経験を知り合うだけの授業になりがちです。また、一つ一つの経験を取り上げ、話し合うためには、45（50）分では時間が足りないでしょう。

共通の場面設定の中で、児童生徒全員で考えるからこそ、価値観の違いが起こり、そこに議論が生まれるのです。

自分にはない価値観に触れることができるのが、集団での学びのよさではないでしょうか。

3 話し合いの工夫

最近では、「ペア学習」や「グループ学習」を取り入れた授業がよく実践されていますが、大切なのは、何のために話し合いを行うのか、授業者が目的を明確にすることです。

①何のための話し合いなのか

- ア 道徳的価値の大切さや実現することのよさを考えさせるために
- イ 道徳的価値を実現することの難しさを考えさせるために
- ウ 道徳的価値に関わる多様な感じ方、考え方等に気付かせるために
- エ ねらいとする道徳的価値に関わる自分自身の感じ方、考え方をはつきりさせるために 等



話し合いを行う

②話し合いの形態

二人での対話 小集団での話し合い 学級全体での話し合い

二人での対話は、話す機会も多くなります。例えば、上のエを目的とした場合には、有効であると言えます。

小集団での話し合いは、一人当たりの話す機会は減りますが、自分と異なる考えや似た考えに出合う機会は多くなります。例えば、アやイを目的とした場合には有効かもしれません。

学級全体での話し合いはより多くの考え方に出合うことができますので、ウを目的とした場合に有効であると言えるでしょう。

③話し合いを活性化させる教師の出番



○見える化

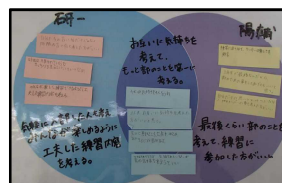
- ☞ 板書による考えの類型化。(考えの違いが見えなければ、議論は生まれにくい。)
- ☞ 話題や視点を明確にする。(「ペア学習」や「グループ学習」に入る前に確認する。)
- ☞ 児童生徒に話し合いの進行状況をつかませる。

○考えることへの支援

- ☞ 児童生徒の思考を広げたり、深めたりできそうな考えを、特に取り上げ話題にする。
- ☞ 話し合いの目的から逸脱しないように調整したり、方向付けたりする。
- ☞ 児童生徒の思考を止めないように、考えをゆさぶる補助発問を効果的に使う。

○ツール

- ☞ バン図やウェビング等のシンキングツールの活用。 ⇒
- ☞ 大型テレビの活用。(写真や動画、挿絵等)
- ☞ ホワイトボードや模造紙、付箋紙等の活用。
- ☞ ICT 機器やアプリケーションの活用。



4 書く活動の工夫

道徳科の評価に対応するために、ワークシートや道徳ノートを積極的に活用している学校が増えてきました。ここでも、話合いと同様、何のために書かせるのか、目的を確認しておきましょう。

①何のために書かせるのか

- ア 児童生徒の学習の個別化を図るために
(一人一人に考えをもたせたり、考えのもてない子に支援したりするため)
- イ 児童生徒に今の自分の感じ方や考え方を自覚させるために
- ウ 児童生徒の多様な感じ方、考え方を促すために
- エ 現在の自分が、ねらいとする道徳的価値に関わって、どのようなよさや課題があるのかを自覚させるために 等



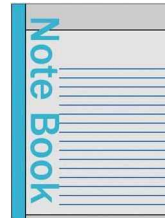
書く活動を行う

その他にも、教師が児童生徒の考えを把握し、その後の話合いに生かす等の目的が考えられます。

また、児童生徒の成長の記録として活用したり、教師の評価に生かしたりすることもできます。

②書く活動のツール

- ワークシート（吹き出し形式、手紙形式、作業的内容の形式 等）
- 道徳ノート（市販のもの、各校で決められた形式を一冊にしたもの等）
- ミニ黒板や模造紙等に、グループ等で話合いながら、考えを整理していく。



③書く活動を効果的に行うための教師の配慮



○明確な指示

- ☞ 例えば、「主人公に手紙を書きましょう。」等の漠然とした指示では、児童生徒が何を書けばよいのか悩むことがあります。児童生徒が分かるように、明確で具体的な指示が必要です。

○回数と時間、書かせる必要があるのか吟味

- ☞ 45（50）分の中に、書く活動を、4～5回程、取り入れた授業を見たことがあります。
考える時間と話合いの時間を確保すると、1単位時間の授業において、書く活動は1～2回程度となることが多いようです。



時間には限りがあります。本当に書かせる必要があるのか吟味が必要です。

5 動作化，役割演技等の表現活動の工夫

動作化・・・教材中のある場面における登場人物等の動きやせりふを模倣したり，それを反復したりすること。



【動作化の目的】

- ①児童生徒が登場人物に親近感をもち，その感じ方や考え方を自分事として，想像できるようにするため。
- ②児童生徒が道徳的価値のよさ（価値理解）やその実現の難しさ（人間理解）等を，実感をもって理解できるようにするため。

役割演技・・・特定の場面状況における役割を与え，登場人物になりきって，即興的に演じること。そのため，その子なりの価値観が表れてくる。
教材のストーリーに沿ってその通りに行うのは，「劇化」である。



【役割演技の目的】

役割演技は，教材のストーリー通りに行うものではなく，道徳的価値に関わる問題場面において，自分の経験や感じ方・考え方を振り返りながら，問題の対応策等を考えさせるために行います。

【役割演技の進め方（例）】

- ①ウォーミングアップ・・・雰囲気作り等
- ②条件設定・・・問題場面を示して，場面状況，登場人物の役割等を理解させる。
- ③即興的演技
- ④演技の中断と話し合い・・・演技を中断して，授業者や観衆側が演技者に質問したり，感想を聞いたりしながら進めていく。
- ⑤役割交代
- ⑥演技終了後の話し合い・・・ねらいとする道徳的価値に関わる感じ方や考え方を中心に話し合わせるようにする。

この他にも，役割演技の手法は，多様に考えられます。

6 説話の工夫

説話とは、児童がねらいとする道徳的価値をより身近に考えられるようにするもの。
 説話とは、生徒がねらいとする道徳的価値を一層主体的に考えられるようにするもの。

| | | | |
|----------|----------------------|---------|----------|
| 教師の体験や願い | 日常生活問題 | ことわざや格言 | 心に残る標語 |
| 時事問題 | 新聞、雑誌、テレビ等で取り上げられた話題 | | 地域の自然や伝統 |

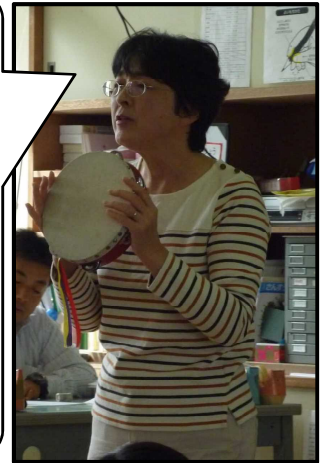
注意すべきは、説話により、児童生徒への叱責、訓戒や行為、考え方の押し付け等にならないようにすることです。

菅美鈴教諭は、小学校1年生の児童に、物の大切さを考えさせる授業をしました。終末では、長い間、音楽室で使われているタンバリンを紹介しました。

吉高啓彰教諭は、小学校6年生の児童に、寛容な心の大切さを考えさせる授業をしました。終末では、相田みつをの詩を紹介しながら、寛容な心の大切さを改めて感じさせようとしていました。

田中和喜教諭は、中学校1年生の生徒に、働くことの意義を考えさせる授業をしました。終末では、自身の体験に基づき、収入以外の働くことの意義を語りました。

このタンバリンは、何歳だと思えますか？



竹田市立久住小学校 菅 美鈴 教諭
 (平成 29 年度時の勤務校)



話の中のサムは、「セトモノ」だったね。でも、自分のことを反省できたから「やわらかい心」が持てたのかもしれないね。

豊後高田市立三浦小学校 吉高 啓彰 教諭
 (平成 29 年度時の勤務校)



ぼくは、教師という仕事に生きがいややりがいを感じています。
 クラスのみんなの成長する姿を見ると教師という仕事をしていることを本当によかったと思います。

臼杵市立西中学校 田中 和喜 教諭
 (平成 29 年度時の勤務校)

7 板書の工夫

児童生徒の思考を整理したり、深めたりする重要な手掛かりとなるのが板書です。単に学習の流れに沿った順接的な板書だけでなく、次のような工夫が必要です。

- ◇対比的、構造的な構成。
- ◇考えの違いを類型化した構成。
- ◇中心部分をクローズアップした構成。

ここでは、3つの具体的な板書例を紹介します。

Aの板書の特徴

田中修教諭（現 指導主事）は、導入と展開の後半において、「自由とはどういうことだと思いますか。」と同じ問いかけをして、児童の反応を対比的に板書に位置付けています。

板書の右端と左端を見比べてください。

「自由」の捉え方が、授業の初めと終わりで違うことがわかります。「うばわれた自由」という教材を活用して学習した結果、児童の「自由」の捉え方が深まっています。

児童自身が、1時間の学びの変容を自覚できると思います。

Bの板書の特徴

長谷川千尋教諭は、「どうすることが、ご恩を返すことになるのか。」という中心発問に対する児童の考えを3つに類型化しています。（板書の中央）

3つの考えのうち、特に左側の考えは、本時のねらいに関連が深いのでしょうか。補助発問により、さらに広げたり、深めたりしている様子が伺えます。

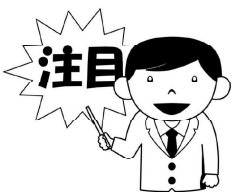
このように、考えの違いを類型化することにより、今の自分の感じ方や考え方を自覚させたり、他の感じ方や考え方に出合わせたりすることができるのです。

Cの板書の特徴

安部詠子教諭は、主人公の佐藤真海さんが抱いていた心情を、矢印で表現しています。

この授業は、小学校の新しい内容項目である「よりよく生きる喜び」をねらいとした学習です。人間は、誰も弱さや醜さをもっています。同時にそれを乗り越えようとする強さや気高さももっています。

安部教諭は、人間がもつ弱さ・醜さと強さ・気高さの両面を対比的に板書に位置付け、佐藤真海さんの生き方を通して、児童が自分事として深められるようにしているのです。



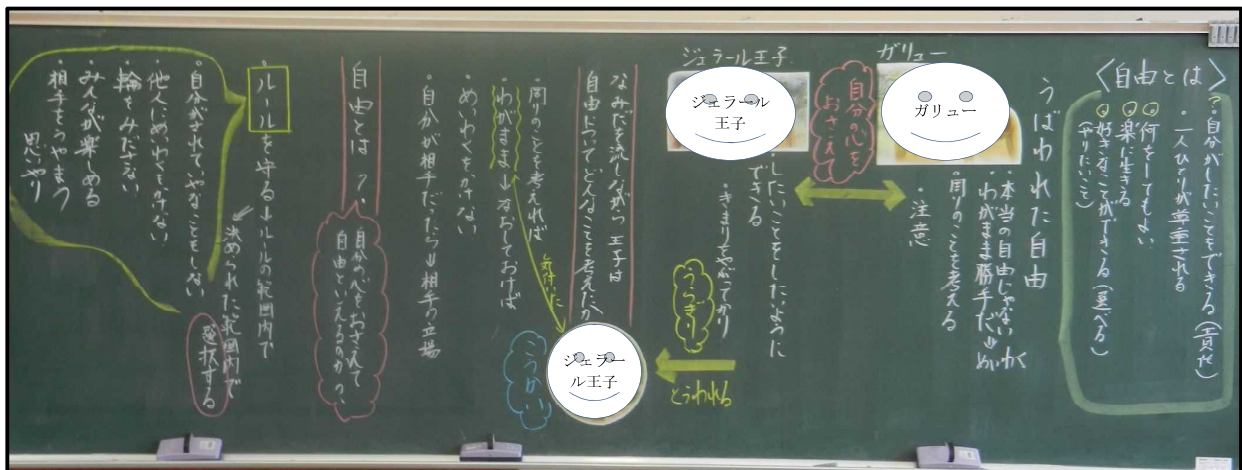
縦書きなのか？ 横書きなのか？

「道徳の板書は、横書きはいけないのですか。」という質問を受けることがあります。道徳科の板書は、縦書きにする等といった規定はありません。

横書きが児童生徒の学びの深まりに効果的であるならば、横書きの板書も実践すべきです。

大切なのは、児童生徒の学習にとって、何が効果的なのかを授業者自身や学校全体でしっかり考えることです。

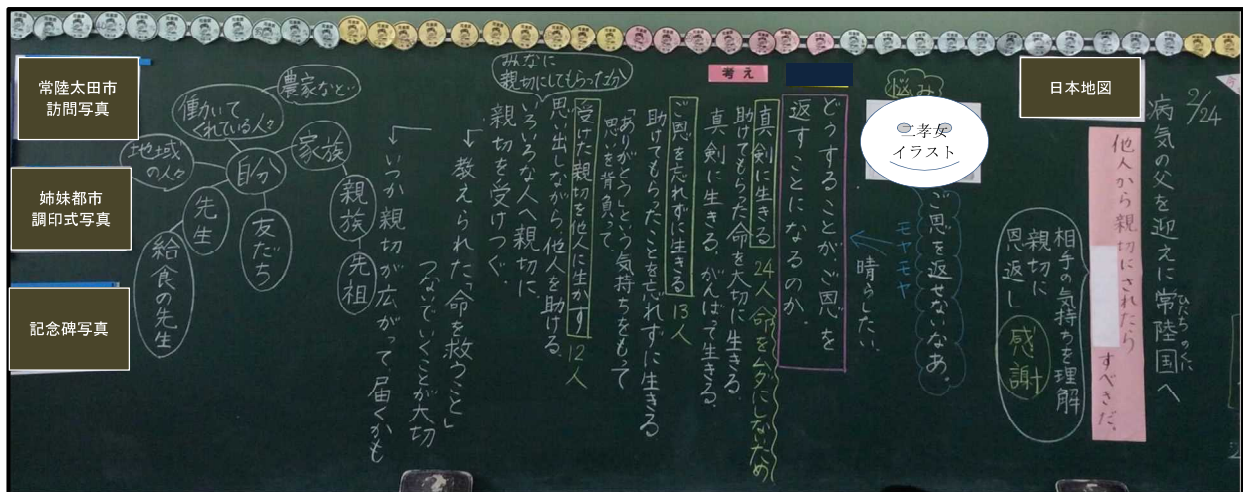
A 初めと終わりで、「自由」の捉え方の違いが見える板書



『うばわれた自由』文部科学省 6年「自由と責任」 大分大学教育学部附属小学校（平成29年度時の勤務校）

教諭 田中 修 氏

B 「感謝」に関わる考え方の違いを類型化している板書



『病気の父を迎えに常陸国へ』大分県教育委員会 6年「感謝」 臼杵市立福良ヶ丘小学校（平成29年度時の勤務校）

教諭 長谷川 千尋 氏

C 人間のもつ弱さと強さ・気高さを対比的に位置づけた板書



『真海のチャレンジ』文科省 6年「よりよく生きる喜び」 国東市立国東小学校（平成29年度時の勤務校）

教諭 安部 詠子 氏